



# 統計スポット情報

NO. 160

21.10.8

福井県総合政策部政策統計課

## — 味覚の秋、行楽の秋、ふくいの秋 —

秋は実りの季節。食べ物、余暇の過ごし方など、楽しみも色々です。

そこで、今回は、総務省が実施している「家計調査」などを通して、福井の秋に関するデータを見ることにしました。

### 1. 秋のお天気

「行楽の秋」で気になるのはお天気でしょうか。過去10年の10月の天気概況から、日中に晴れた日数を見てみると、各年とも月の半数は晴れていたようです。

○ 過去10年の各年10月に晴れた日数※(観測地点「福井」) (日)

平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
23	17	18	15	20	17	19	20	21	16

(出典：気象庁)

※昼(6:00~18:00)の天気概況のうち、「晴」が含まれ、「雨」が含まれない日(「曇後晴」「曇一時晴」なども含む。)を当課で計上。

では、台風はどうでしょうか。過去10年間の各月の台風の接近数を見ると、ピークは8~9月ですが、10月にも台風が接近した年があります。秋になっても油断は禁物ですね。

○ 過去10年の北陸地方への台風接近数※

	(個)								年間合計
	1~5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月・12月		
平成20年					1				1
平成19年			1	1	1				3
平成18年				1	1				1
平成17年			1	1	1				3
平成16年	2			3	2	2			9
平成15年				1					1
平成14年		2					1		3
平成13年			1	1	1				2
平成12年			1						1
平成11年					2				2

台風の寿命(発生日時から消滅日時までの期間)のランキングを見ると、上位の台風は半月以上もあります。ちなみに、過去10年間で最も長寿の台風は平成13年の台風16号で、9月6日から9月20日までの14.25日です。

※台風が中心が新潟県、富山県、石川県、福井県のいずれかの気象官署から300km以内に入った場合  
(出典：気象庁)

○ 長寿台風(全国)※

順位	台風番号	台風期間	日数(日)
1位	昭和61年台風14号	8月18日 ~ 9月6日	19.25
2位	昭和47年台風7号	7月7日 ~ 7月26日	19.00
3位	昭和42年台風22号	8月30日 ~ 9月17日	18.25
4位	平成3年台風20号	9月16日 ~ 10月2日	15.75
5位	昭和47年台風9号	7月9日 ~ 7月24日	15.50

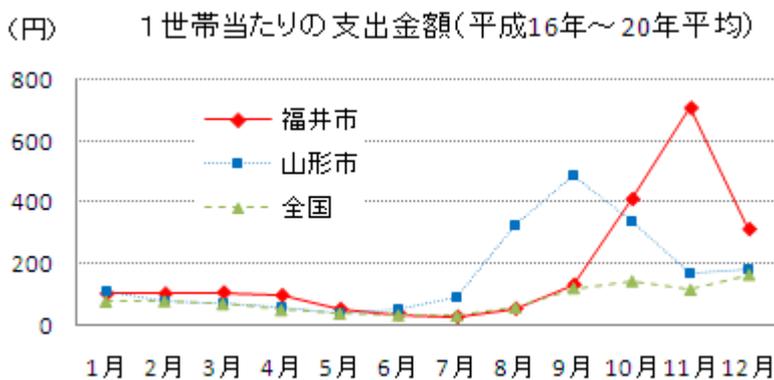
※昭和26年以降に発生した台風の統計による順位  
(出典：気象庁)

## 2. 秋の食べ物の消費状況

「味覚の秋」と表現されるくらい、秋は食べ物のおいしい季節です。そこで、福井の人が秋にどんな食べ物を購入しているのか、月別の消費支出金額を見ていくと、意外なことが明らかになってきました。

- ・ 福井の人はさといもが大好きなようで、H16～20年平均の1世帯あたりの支出金額は全国トップです。月別では、さすが秋の味覚、全国的にも秋の支出金額は他の季節より多めです。しかし(!)、福井県の10月、11月の支出金額は全国を大きく上回っています。福井県のさといもの収穫時期は10月から12月。まさに出回りだした時期にぐんと支出金額が増えていますね。
- ・ 秋といえばさつまいも(かんしょ)、米、なし、柿なども代表的な味覚。9月～11月は全国的にも支出金額が他の季節より高めです。でも、やっぱり福井県の支出金額の動きはかなり特徴的です。収穫時期の始まりに急激に伸びて全国を上回る傾向があります。
- ・ 福井の人は、旬の味覚が大好きなようです。初物が出たら買わずにいられないのでしょうか？

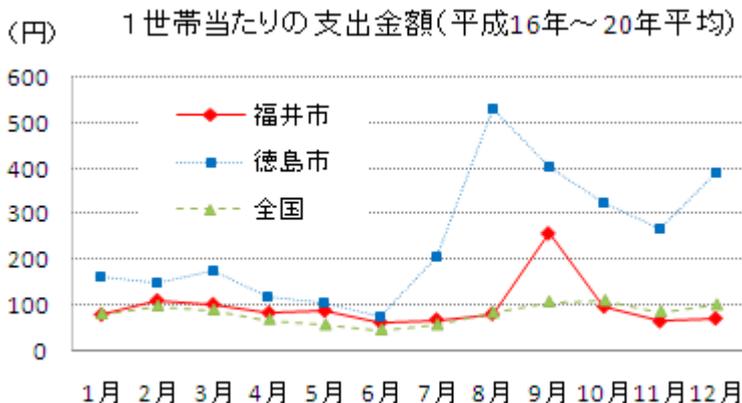
### ○ さといもの消費の状況



#### さといもの豆知識

- ・ 県内の主な産地: 大野市、勝山市等
- ・ 県内での収穫時期: 10月～12月
- ・ 福井市1世帯あたりの支出金額  
全国順位(H16～20平均): 1位
- ※山形市は同2位です。やはり旬の始まりの時期(さといもは品種によっては8月から出回ります)に消費が大きく伸びていますが、福井市ほど急激ではありません。

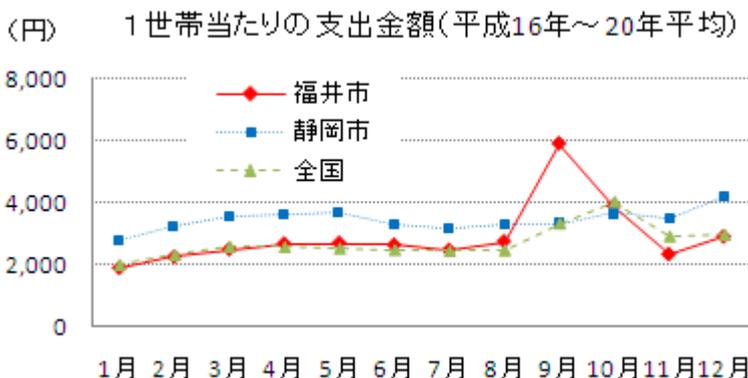
### ○ さつまいも(かんしょ)の消費の状況



#### さつまいもの豆知識

- ・ 県内の主な産地: あわら市等
- ・ 県内での収穫時期:  
8月下旬～11月上旬
- ・ 福井市1世帯あたりの支出金額  
全国順位(H16～20平均): 9位
- ※徳島市は同1位です。さすが、旬の時期に全国を大きく上回っています。

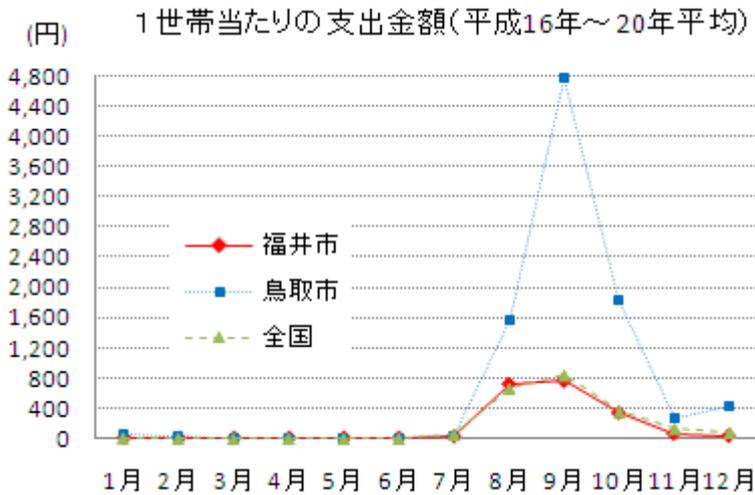
### ○ 米の消費の状況



#### 米の豆知識

- ・ 県内の主な産地: 県内一円
- ・ 県内での収穫時期:  
8月下旬～10月中旬
- ・ 福井市1世帯あたりの支出金額  
全国順位(H16～20平均): 8位
- ※静岡市は同1位です。1年を通してほぼ一定水準を保ち、全国を大きく上回る傾向にあります。

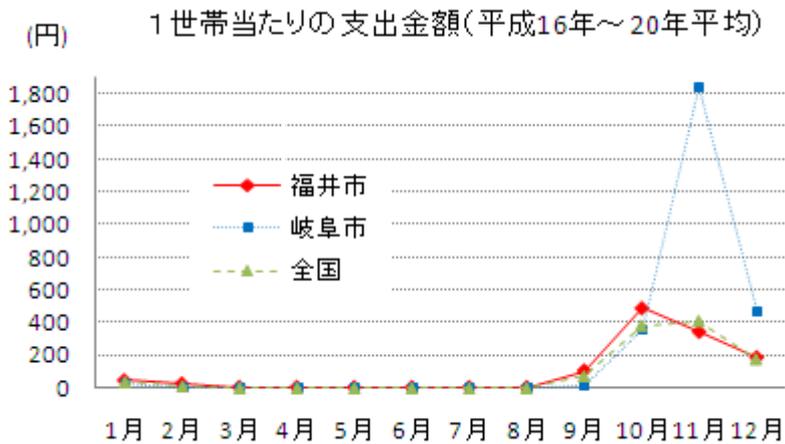
○ なしの消費の状況



なしの豆知識

- ・県内の主な産地: 坂井市、あわら市等
  - ・県内での収穫時期: 8月～11月中旬
  - ・福井市1世帯当たりの支出金額
- 全国順位(H16～20平均): 23位  
 ※鳥取市は同1位です。なしは出回る時期が限られるため、一気に大きく伸びています。

○ 柿の消費の状況



柿の豆知識

- ・県内の主な産地: あわら市等
  - ・県内での収穫時期: 10月～11月
  - ・福井市1世帯当たりの支出金額
- 全国順位(H16～20平均): 20位  
 ※岐阜市は同1位です。柿もなし同様に出回る時期が限られるため、11月に一気に大きく伸びています。

(出典: 家計調査)

(注) 上記の家計調査結果は福井市、山形市、徳島市、静岡市、鳥取市、岐阜市、全国(主要都市)の1世帯あたりの「家計消費支出」に関するものであり、「消費」ではなく「購入」した月を示します。また、自己で消費するもののほか「贈答品」等も含まれますが、飲食店等における支出は含まれません。なお、もらい物をした場合や自家産のものを家計に取り入れた場合などの見積額は含まれていません。

ところで、福井市のさといも、さつまいも(かんしょ)、米の1世帯当たりの支出金額(H16～20年平均)は全国で10位以内となっていますが、産地としての福井県は全国でどれくらいに位置しているのでしょうか。

○秋冬さといもの出荷量(H19)

○かんしょの収穫量(H20)

○水陸稲の収穫量(H20)

順位	都道府県	全国計に占める割合	順位	都道府県	全国計に占める割合	順位	都道府県	全国計に占める割合
1	千葉県	17.7%	1	鹿児島県	39.6%	1	北海道	7.34%
2	宮崎県	13.7%	2	茨城県	16.6%	2	新潟県	7.30%
3	埼玉県	11.0%	3	千葉県	12.4%	3	秋田県	6.07%
14	福井県	1.7%	34	福井県	0.2%	22	福井県	1.61%

(出典: 作物統計調査)  
 (注) 収穫量とは、収穫したもののうち、生食用、加工用として流通する基準を満たす重量、出荷量とは収穫量から生産者の自家消費、収穫後の減耗などを差し引いた重量をいい、出荷量のデータがない場合に収穫量としました。

いずれの品目でも、福井県の順位はあまり高くはありません。

一方、それぞれの品目で出荷量または収穫量がトップの道県について、同品目の1世帯あたりの支出金額(H16～20年平均)の全国順位を見てみると、千葉市のさといもは22位、鹿児島市のかんしょは32位、札幌市の米は20位となっています。

### 3. 旅行・行楽の行動者状況

秋は気温も下がり過ごしやすい季節です。秋祭りや紅葉狩りなど外出する機会も増えるのではないのでしょうか。ここでは、福井の人の旅行・行楽の行動について見ていきます。

福井県は、旅行・行楽の行動者率<sup>(注)</sup>が全国9位と上位になっています。

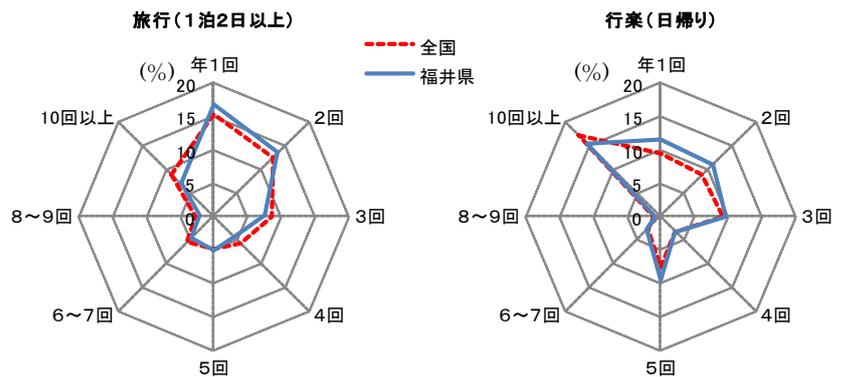
しかし、1泊2日以上「旅行」と日帰りの「行楽」を分けて見てみると、「旅行」が全国19位に対し、「行楽」は全国4位と高くなっています。福井の人は、「旅行」よりも「行楽」を好むようです。

旅行・行楽に行った回数別で見ると、福井県では年1~2回という人の割合が全国を上回っています。先に見た行動者率のランキングと併せて見ると、回数は少ないけれど多くの人が旅行・行楽に行くという福井県民の姿が見えてきます。

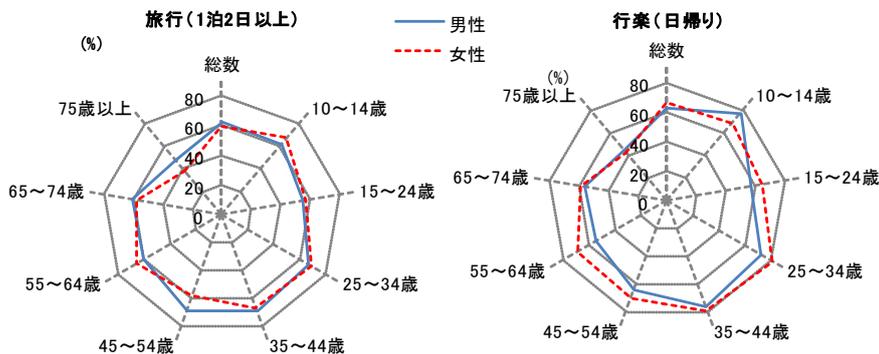
#### ○旅行・行楽別行動者率ランキング

＜行楽＞		＜旅行＞	
順位	県	順位	県
1	愛知県	1	東京都
2	長野県	2	神奈川県
3	滋賀県	}	
4	福井県		
5	神奈川県	19	福井県

#### ○回数別 旅行・行楽行動者率(全国:福井県)



#### ○男女・年齢別 旅行・行楽行動者率(福井県)



また、福井県の男性と女性を比べてみると、男性は45歳を超えた年齢層からは「旅行」をする人が多く見られますが、女性は年齢を問わず「行楽」を楽しむ人が多いようです。

(注)「行動者」とは過去1年間に旅行・行楽を行った人をいいます。また、「旅行」とは1泊2日以上にわたって行うすべての旅行をいい、「行楽」とは日常生活圏を離れて宿泊を伴わず半日以上の日帰り夜行日帰りも含みます。  
(出典:平成18年社会生活基本調査)

#### ○秋旅の出発時期(全国)

年代別男女別出発時期ベスト3(複数回答)			25%以上			20~25%		20%未満			
			9月			10月			11月		
			上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
20代	男性		30.8%	29.2%		20.0%					
	女性		25.4%			22.5%	23.9%				
30代	男性		22.2%	41.3%	25.4%						
	女性		20.8%	32.5%	29.9%						
40代	男性			28.4%	22.2%	18.5%					
	女性		23.9%		25.4%		22.4%				
50代	男性		23.5%	32.4%	22.1%						
	女性				24.7%	29.6%	23.5%				
60代以上	男性					35.9%	19.6%		23.9%		
	女性			23.3%		24.4%	27.8%				

(出典:JTB WEB調査「2007年秋の旅行動向」) サンプル数1,300

30代~50代は仕事が忙しい関係か、9月下旬から10月の連休を利用し、比較的時間が自由になる。60代以上はカレンダーに関係なく、爽やかな気候の10月中旬以降に旅に出るようです。10月は紅葉が深まる時期。皆さんも、季節を感じる旅に出かけてみてはいかがでしょうか。